

整備手順の検討について

- 地震・津波防護対策として絞り込んだ、対策案①「湾口部固定式案」をもとに、以下に提示する「5つの観点」を踏まえた地域の重要度を整理。
- 今後、地域の重要度を基に整備手順（地域の優先度）を検討していく。

施設整備手順の検討に当たっての観点

観点	内容
防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域にわたる津波の浸入や遡上の防止・低減効果が高い施設であるか。（但し、津波の反射による隣接地域への影響も考慮する） ● 浸水区域内における人口、都市・産業機能の集積が高い地域を守る施設であるか。
復旧・復興	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政・防災機関や医療拠点（支援・救護病院）、緊急輸送道路、耐震強化岸壁などの防災拠点機能としての重要度が高い地域を守る施設であるか。 ● 地域産業等の活動並びに被災後の早期復旧・復興に不可欠な燃料備蓄基地などを守る施設であるか。 ● 航路に近接し、地震・津波による損壊が起きた場合、航路機能に影響を及ぼす施設であるか。

地域の概況、重要度の整理

地域(地区名)	観点	地域の概況と重要度
外縁地区 湾口地区	防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> ・広域にわたり津波の遡上、低減効果が高い施設。 ・他の海岸施設耐震化区間と連続させることにより防護効果が高い。 ※ただし、湾口部固定式防波堤については、津波の反射などによる隣接地域への影響を考慮する必要がある。
	復旧・復興	<ul style="list-style-type: none"> ・高知新港の耐震強化岸壁及び当該岸壁と接続する一次緊急輸送道路が有り。
若松町地区 潮江地区 港町地区	防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> ・背後に市街地を控え人口密度が高く、工場も立地し産業集積が高い。 ・河川護岸耐震化区間と連続させることにより防護効果が高い。 ・災害時における石油類の流出による二次災害の危険性が高い。 ・長期浸水対策における優先度が高い地域。
	復旧・復興	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁、市役所等の行政機関、災害支援病院、救護病院、主要道路（一次緊急輸送路）、耐震強化岸壁などが集積し、防災拠点・機能としての重要度が高い。 ・石油、ガスを取り扱う燃料備蓄基地(中之島)が立地
タナスカ地区	防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における石油類の流出による二次災害の危険性。
	復旧・復興	<ul style="list-style-type: none"> ・石油、ガスを取り扱う燃料備蓄基地が立地。（石油類の県内消費量の90%を取り扱う） ・背後に防災機能としての一次緊急輸送道路が有り。
吸江地区	防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> ・河川護岸耐震化区間と連続させることにより防護効果が高い。
	復旧・復興	<ul style="list-style-type: none"> ・高知新港の耐震強化岸壁と接続する一次緊急輸送道路があり防災機能として重要度が高い。
弘化台地区	防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> ・中央卸売市場(青果部)、地方卸売市場(水産物部)が立地。
	復旧・復興	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水区域内に一次緊急輸送道路が有り。
種崎地区、御畳瀬地区、長浜地区、藻洲湯地区、浦戸地区	防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水区域内に、多くの住居、学校などが集積。
	復旧・復興	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の救護病院(種崎、長浜地区)、一次・二次緊急輸送道路が有り。 ・航路に近接して護岸等が立地しており、航路機能に影響を与える可能性が高い。
仁井田地区	防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> ・木材団地、工場などの産業が集積している地域
	復旧・復興	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水区域内に発電所が立地。 ・防災機能としての一次緊急輸送道路が有り。
西孕地区	復旧・復興	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水区域内に発電施設が立地。 ・防災機能としての二次緊急輸送道路が有り。
	防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水区域に多くの住居、学校などが集積。
横浜地区	防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水区域に多くの住居、学校などが集積。
	復旧・復興	<ul style="list-style-type: none"> ・防災機能としての二次緊急輸送道路が有り。

※本資料は、当該検討会以降の検討成果を踏まえた修正を含む

